

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.12

発行責任者…同志会
編集責任者…豊田耕一

私たち市議会議員は、民意を反映出来ているのでしょうか?

先月の9月議会では、1年前に議論を尽くした**夜間景観整備事業費(決算額4,996万円)**の**決算審査**も行いました。

ご覧になった方もおられるでしょうが、金ヶ崎周辺への夜間の来場者数の増加を目的として**プロジェクションマッピングとイルミネーションの整備**をすることにより、市内の経済の活性化に繋げるための事業がすでにスタートしています。そんな中、先日拝見した市内の高校生たちのインスタグラムでは、「きれい!」とのコメントがある一方…「何これ!」「しょぼい!」等の批判的なコメントが数多く見受けられました。

夜間景観整備事業(予算額5,000万円)については、費用対効果が見込めないことに加え、自分のお金だったら事業を行うのか?…との熟慮を重ねた結果、事業には反対の立場を表明しました。しかし、結果は**反対議員5名に対して賛成議員が18名の賛成多数で可決**されました。議決後、私が投稿したYouTube「自分のお金だったら、その事業は行いますか?」を見てくれた敦賀市在住のユーチューバーが、**敦賀市民307名**に対してプロジェクションマッピングの賛否についてアンケート調査を行ってくれましたが、結果は、**反対221名**に対して**賛成86名**というもので、議会の採決とは真逆の結果になりました。



実際にプロジェクションマッピングやイルミネーションをご覧になって、皆様は、4,996万円の税金を使った事業をどう評価されているのでしょうか?

毎年のランニングコストは考えているのか?

プロジェクションマッピングとイルミネーションは、電気代等のコストが毎年必要になります。

また、先の議会で決算審査した敦賀ムゼウムに関連して、新築工事等の「敦賀ムゼウム整備事業費」に**約11億5,600万円**(平成30年度~令和2年度の決算額)の税金が投入されました。

そして、令和2年度には、「人道の港敦賀ムゼウム管理運営費」に約3,000万円、「人道の港敦賀事業費」に約550万円、「人道の港国際文化交流ウィーク開催費」に約500万円と、敦賀ムゼウムに関連した事業費を合計すると、**1年間で4,000万円を超えるコストが税金から負担**されています。

上記のことからも、ハコモノ施設を建設するということは、建設費以外にも多くの**維持管理費を毎年税金から負担**しなければならないということをご理解いただけたと思います。

そもそも新しい敦賀ムゼウムは必要な施設だったのか?

3年前から議会の場で、新しく敦賀ムゼウムを建設するための予算について一貫して**反対**を貫きましたが、結果は市議会議員の賛成多数で可決され、敦賀ムゼウムが建設されることになりました。

皆様の中にも、敦賀ムゼウムのファンはおられるでしょう。しかし、**毎年数千万円のコスト**をかけて、市内の経済の活性化にどれだけの効果を発揮してくれるのでしょうか?…今回は、開館からもうすぐ1年が経過する敦賀ムゼウムについて、改めて裏面でも少し触れさせていただきます。

20年先を見据えて…自分のお金を投資出来るか否かが私の判断基準

敦賀ムゼウムが敦賀市へもたらす貢献度を考えます！



敦賀ムゼウムにどれだけの来館者が来てくれているのかということ…。

【昨年11月3日にオープンして今年8月末まで約10ヵ月間】

来館者数 **16,900人**
(目標70,000人/1年間)

入場料収入 **730万円**
(見込額2,400万円/1年間)

コロナ禍の影響があるとはいえ、大幅に見込みを下回っています。

そもそも、目標10万人(建設予算が提示された時の目標・現在は7万人)の来館者が訪れたとしても、毎年2,680万円の赤字を見込んでいた施設を建設することについては、費用対効果も見込めず、市民の理解は得られないでしょう。



市民の税金は市民のために使うもの

実際に、この敦賀ムゼウムに関連する予算については、敦賀ムゼウムに関する無駄遣いを市に改めさせるよう、市民から多数のご意見が私たち会派には寄せられていましたので、1年前の9月議会の補正予算案について反対の討論を行いました。理由については、ブログ・YouTubeでも発信していますので、是非ご覧ください。



10/11ブログ

今ある豊かな自然や美味しい食を活かさない手はない！

3年前の「豊田こういちレター」でも触れましたが、敦賀市へ来てくださる関西・中京方面を中心とした観光客の多くは、敦賀の豊かな自然や美味しい食を求めて来られています。そのことから、金ヶ崎周辺への来場者数アップや市内の経済の活性化を求めるのであれば、食に関連する施設や、中池見等の今ある敦賀の宝を最大限活用することによって、もっと費用を抑えて大きな効果を実現出来る方策があるのではないのでしょうか。

息子たちと一緒に魚釣り等をして私は敦賀市の自然を満喫しています。



編集後記



入るを量りて出ざるを為す

これからの敦賀市は、北陸新幹線に関連する事業、新清掃センターの整備(26年間で約277億円を見込む)や一般廃棄物最終処分場の整備等により財政状況が厳しくなることは間違いないと考えていますので、これからも、市の20年先の将来を見据えた是々非々の議論と採決を徹底して行っていきます。

また、すでに人口減少や少子高齢化時代は待たなしの状況ですが、福祉や教育等の削減してはいけない予算は確保し、自分のお金だったら事業を行うかを判断基準として、大きな効果を小さな経費で達成するための努力を、これからも粘り強く続けていきます。

豊田こういちレター Vol.12

2021年10月17日発行
発行責任：同志会
編集責任者：豊田耕一

このニュースレターは、政務活動費の一部を活用し発行しています

敦賀市議会や議員活動情報を日々発信しています。ひとりでも多くの皆様に見ていただき、頂戴したお声を真摯に受け止め、議員として与えられた一般質問等の機会を最大限に活用して、市政へ皆様のお声を反映させます。是非、以下のSNSもご覧ください。

日々の取り組みや、思いを毎日更新しています。



YouTubeチャンネル



アメブロ「田舎での子育て」



Twitter @kouiti_toyoda



Facebook



豊田耕一公式サイト

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために！

敦賀市議会議員

豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田刈
66-803-2

豊田耕一

検索

